

## 令和元年度「労働環境調査モデル工事」調査結果概要

埼玉県では、労働条件や賃金など建設工事現場の技能労働者の労働環境の実態を把握するために、令和元年度から「労働環境調査モデル工事」に取り組んでいます。令和元年度の調査結果の概要は下記のとおりです。

### 記

#### 1. 調査概要

##### (1) 対象工事

- ・発注者が指定した県土整備部発注の23工事（令和元年度発注）  
\* 令和2年度への繰り越し工事を含む

##### (2) 調査方法

- ・書類提出による労働環境調査（全工事）  
労働環境調査把握チェックシート〔様式1〕：関連法令等の遵守の状況を回答  
労働賃金調査票〔様式2〕：元請・下請企業ごとに51職種の最低賃金を回答  
重層下請理由書〔様式3〕：3次以上の下請契約を行う場合に理由を回答
- ・電子申請システムによる労働環境アンケート（全工事）
- ・ヒアリング調査（一部工事）

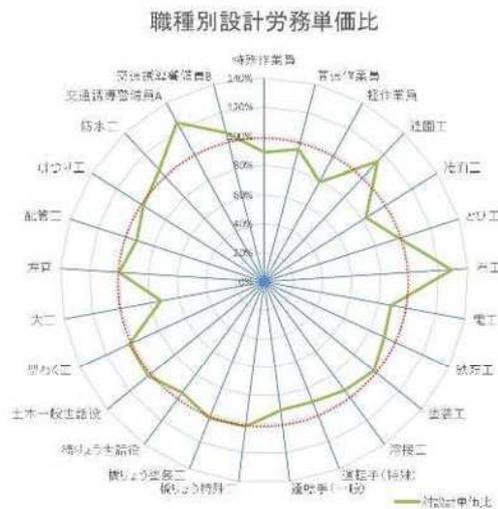
#### 2. 労働環境調査の結果

##### (1) 適正な労働環境の確保状況

- ・全ての対象工事において、「就業規則の作成・届出」や「賃金台帳等の作成」「社会保険の加入」など、適正な労働環境の確保に努めている状況が確認された。

(2) 賃金【資料1・2】

- ・ 労働賃金の支払額については、工事ごと、職種ごとにバラついている状況にある。
- ・ 職種ごとの平均賃金は、設計労務単価に対して上下3割以内の範囲で乖離があるものの、最低賃金（最低賃金法）を下回る不当に低い賃金はない。
- ・ 下請次数が大きくなるほど賃金が低下する傾向はない。
- ・ ヒアリング調査により、下請次数が大きくなると専門性が高くなり、結果として賃金が高くなる傾向を確認した。



元請・下請次数別賃金

元／下請	賃金比率※
元請	96.0%
下請(1次)	97.8%
下請(2次)	104.7%
下請(3次)	121.8%

※調査対象職種全労働者賃金の平均を1とした際の比率

(3) 重層下請構造

- ・ 対象工事のうち、2件の工事で3次下請が活用されていたが、いずれも専門性の高い工種について必要性に応じて下請契約を締結したものである。

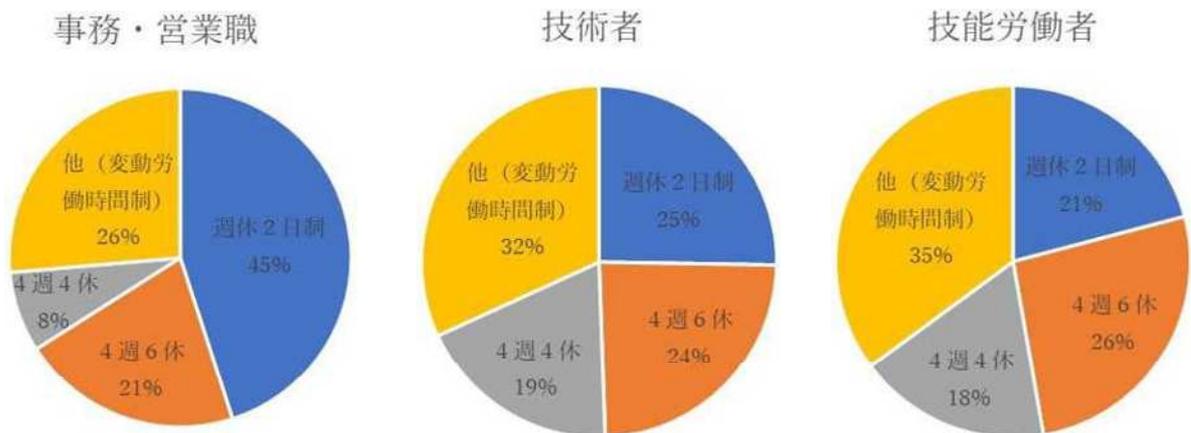
3. 労働環境アンケートの結果【資料3】

(1) 就労環境改善の取組

- ・ 労働災害防止や健康増進に加え、休日の取得率向上や労働時間の短縮といった、働き方改革に関する取組も着実に実施されている。

## (2) 休日（就業規則における取扱い）

- ・週休2日制を導入している企業は5割を下回り、特に技術職（技術者、技能労働者）に関しては、4週6休や4週4休としている企業が半数近くを占めている。



## (3) 給与

- ・自社の賃金引上げを行った企業は6割で、この理由を設計労務単価の上昇と回答した企業が約4割である。
- ・引上げ未実施の企業に関しても、既に高水準であることや法定福利費へ充当したなどの回答があった一方で、約3割の企業は、受注した工事の利益率が低いことを理由に挙げている。

## (4) 下請契約

- ・回答企業の半数以上がすべて自社施工している。その他の企業でも自社での施工が困難などの特殊な事情を除いては、下請次数の抑制に努める傾向が見られる。
- ・下請契約における見積徴取の際、（各専門工事業団体作成の）法定福利費の内訳を明示した標準見積書を、元請においては全ての企業、下請においても9割を超える企業が使用している。

※この調査に関する詳細は、埼玉県ホームページ「労働環境調査モデル工事」をご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1002/roudoukankyoutyousamode|kouji.html>

◆令和元年度 労働環境調査モデル工事 労働賃金集計結果(確定値)

【資料1】

No.	職種名	H31.4 設計単価 A	全体		元請		下請(1次)		下請(2次)		下請(3次)	
			平均 B	対設計単価 B/A	平均 C	対全体 C/B	平均 D	対全体 D/B	平均 E	対全体 E/B	平均 F	対全体 F/B
01	特殊作業員	23,400	20,796	89%	18,500	89%	20,884	100%	21,198	102%		
02	普通作業員	20,200	18,980	94%	19,571	103%	18,488	97%	19,449	102%		
03	軽作業員	14,600	11,500	79%			11,000	96%	11,750	102%		
04	造園工	20,300	23,000	113%			24,000	104%	21,000	91%		
05	法面工	25,500	21,000	82%					21,000	100%		
06	とび工	26,400	25,653	97%			26,058	102%	26,050	102%	18,000	70%
07	石工	26,900	34,667	129%			34,667	100%				
09	電工	23,200	20,500	88%			20,500	100%				
10	鉄筋工	26,700	24,222	91%	20,000	83%	23,667	98%	28,000	116%		
12	塗装工	26,400	25,725	97%			22,850	89%	28,600	111%		
13	溶接工	28,000	26,280	94%			25,500	97%	23,829	91%	45,000	171%
14	運転手(特殊)	24,200	21,833	90%	20,833	95%	21,463	98%	22,895	105%		
15	運転手(一般)	21,100	19,032	90%	18,500	97%	18,910	99%	20,440	107%		
22	橋りょう特殊工	30,500	30,975	102%			31,300	101%	30,000	97%		
23	橋りょう塗装工	30,800	31,550	102%			31,200	99%	31,667	100%		
24	橋りょう世話役	33,600	32,250	96%			32,250	100%				
25	土木一般世話役	23,400	24,198	103%	23,200	96%	23,055	95%	27,031	112%		
33	型わく工	25,600	26,167	102%	24,500	94%	24,833	95%	29,000	111%		
34	大工	25,300	18,200	72%					18,200	100%		
35	左官	26,500	26,500	100%			27,250	103%	26,200	99%		
36	配管工	21,900	20,150	92%			20,150	100%				
37	はつり工	24,800	24,400	98%			26,000	107%	23,333	96%		
38	防水工	28,500	30,000	105%					30,000	100%		
50	交通誘導警備員A	14,300	17,833	125%			17,833	100%				
51	交通誘導警備員B	12,600	13,296	106%			13,296	100%				
	平均(加重平均)				20,568	96.0%	22,085	97.8%	23,837	104.7%	31,500	121.8%

<集計結果>

○ 職種別 (対設計単価 赤字: +20ポイント超、青字: -20ポイント超)

バラツキはあるが、一部職種で賃金の平均が設計単価の8割を下回る状況が見られた。該当職種においては経験年数の浅い技能者も雇用しており、本調査が「最低賃金」を回答するものであることに起因していると推測されるが、不当に低い賃金は確認されなかった。

○ 受注体系別 (対全体平均 赤字: 平均より+、青字: 平均より-)

下請負人の回数が増えるほど専門性が高くなるためと推測されるが、不当に低い金額による下請契約などで賃金が低下する傾向は確認されなかった。

## ◆令和元年度 労働環境調査モデル工事 ヒアリング調査結果 集計表

【資料2】

調査No.	1	2	3	4	5
対象職種	溶接工	石工	軽作業員	普通作業員	普通作業員
対象者賃金(最低賃金)	45,000	44,000	8,500	11,885	12,000
設計労務単価	28,000	26,900	14,600	20,200	20,200
対労務単価率	<b>160.7%</b>	<b>163.6%</b>	<b>58.2%</b>	<b>59.4%</b>	<b>59.4%</b>
年齢	中堅[30～40代]	年長[50代～]	若手[10～20代]	若手[10～20代]	若手[10～20代]
経験年数	ベテラン[10年～]	ベテラン[10年～]	新人[～5年]	新人[～5年]	新人[～5年]
雇用形態	常勤	常勤	日雇い	常勤	常勤
資格	有り(半自動溶接)	無し	無し	無し	無し
専門性	高	高	低	普通	低
乖離の理由	専門性を有するため	該当職人不足による 単価高騰のため	年齢が若く、経験が浅 いため	来日1年未満の 外国人実習生のため	年齢が若く、経験が浅 いため
賃金設定 考慮項目	資格、専門性	経験年数、専門性	年齢、経験年数、雇用 形態、資格、専門性、 危険性、学歴	年齢、経験年数、 勤務態度	年齢、経験年数

## 労働環境調査モデル工事アンケート結果(令和元、2年度回答分)

集計期間	2019年08月23日～2021年03月31日	
回答数	91	※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

## ○就労環境改善の取組(※複数回答可) ※回答企業数に対する取組実施企業数の割合

	労働時間縮減		休日取得向上		労働災害防止		健康増進		その他		回答企業数
元請※	9	43%	9	43%	11	52%	8	38%	2	10%	21
下請※	27	39%	28	40%	37	53%	28	40%	3	4%	70
合計※	36	40%	37	41%	48	53%	36	40%	5	5%	91

## ○就業規則における休日の取扱い

## ・事務・営業職

	週休2日制		4週6休		4週4休		他(変動労働時間制)		計	
元請	10	48%	6	29%	2	10%	3	14%	21	100%
下請	31	44%	13	19%	5	7%	21	30%	70	100%
合計	41	45%	19	21%	7	8%	24	26%	91	100%

## ・技術者

	週休2日制		4週6休		4週4休		他(変動労働時間制)		計	
元請	7	33%	6	29%	5	24%	3	14%	21	100%
下請	16	23%	16	23%	12	17%	26	37%	70	100%
合計	23	25%	22	24%	17	19%	29	32%	91	100%

## ・技能労働者

	週休2日制		4週6休		4週4休		他(変動労働時間制)		計	
元請	6	29%	7	33%	6	29%	2	10%	21	100%
下請	13	19%	17	24%	10	14%	30	43%	70	100%
合計	19	21%	24	26%	16	18%	32	35%	91	100%

## ○給与制度

## ・事務・営業職

	完全月給制		日給月給制		日給制		時給制		年俸制		計	
元請	20	95%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	21	100%
下請	59	84%	9	13%	1	1%	1	1%	0	0%	70	100%
合計	79	87%	10	11%	1	1%	1	1%	0	0%	91	100%

## ・技術者

	完全月給制		日給月給制		日給制		時給制		年俸制		計	
元請	19	90%	2	10%	0	0%	0	0%	0	0%	21	100%
下請	47	67%	20	29%	3	4%	0	0%	0	0%	70	100%
合計	66	73%	22	24%	3	3%	0	0%	0	0%	91	100%

## ・技能労働者

	完全月給制		日給月給制		日給制		時給制		年俸制		計	
元請	12	57%	7	33%	2	10%	0	0%	0	0%	21	100%
下請	35	50%	32	46%	3	4%	0	0%	0	0%	70	100%
合計	47	52%	39	43%	5	5%	0	0%	0	0%	91	100%

## ○設計労務単価上昇の認知、自社労働者の賃金引上げ

	単価上昇				賃金引上げ					
	知っていた		知らなかった		実施した		実施しなかった		その他	
元請	15	71%	6	29%	12	57%	9	43%	0	0%
下請	58	83%	12	17%	42	60%	26	37%	2	3%
合計	73	80%	18	20%	54	59%	35	38%	2	2%

○賃金引上げ実施の理由 ※実施企業数における回答企業数の割合

	設計単価上昇		業績好調		労働者確保		その他		実施企業数
元請※	4	33%	3	25%	3	25%	2	17%	12
下請※	15	36%	10	24%	15	36%	2	5%	42
合計※	19	35%	13	24%	18	33%	4	7%	54

○賃金引上げ未実施の理由 ※未実施企業数における回答企業数の割合

	利益率低い		法定福利費充当		経営不安		既に高水準		その他		未実施企業数
元請※	4	44%	0	0%	0	0%	4	44%	1	11%	9
下請※	6	23%	6	23%	8	31%	4	15%	2	8%	26
合計※	10	29%	6	17%	8	23%	8	23%	3	9%	35

○下請の選定状況

すべて自社施工		通常より抑制		通常通り活用		通常以上活用		計	
48	53%	13	14%	27	30%	3	3%	91	100%

○下請活用の理由

自社施工不可		業務量過大		業務効率化		その他		計	
27	63%	9	21%	6	14%	1	2%	43	100%

○標準見積書の使用

	使用している		使用していない		計	
元請	21	100%	0	0%	21	100%
下請	66	94%	4	6%	70	100%
合計	87	96%	4	4%	91	100%